

# もう一度チェック！『ごみ』の出し方

**正しい分別**  
できていますか？

町は、これまで「ごみの分け方・出し方」のポスターや「ごみ分別虎の巻」などを全戸配布し、ごみの分別の周知徹底を図ってきました。

ごみの分別がきちんとできていないと、焼却炉を傷める原因になります。また、ごみの分別で資源として出すことにより、再利用と再資源化の「リサイクル」ができます。

平成20年度の葛巻町のリサイクル率は27・3%（県発表のデータ）で、県内の人口一人未達の町村の中で2位とあります。県平均は18・8%で、全市町村の中でも5位という

好成绩です。

しかし、町のリサイクルセンターで働く久保幸子さんは「分別の仕方はよくなっていますが、瓶やペットボトルのふたがついたままのものがあつた。必ず外してください。缶の中に入っている吸い殻が入っていることも、まだあります」と作業中の苦労を話します。



葛巻中学校の資源回収

## 町で示しているごみの出し方

出し方	分別の区分	ごみの種類		
集積所にだせるごみ	燃えるごみ	紙くず類、木くず類、繊維くず、生ごみ、プラスチック類、ゴム類		
		燃えないごみ	燃えないもの、大きめのプラスチック類	
	透明・半透明の中身の見える袋	資源ごみ	びん類	清涼飲料水びん、酒びん、ビールびんなど（フタをとる→燃えないごみへ）
			缶類	スチール・アルミ缶
			発砲スチロール類	トレーなど曲げると割れるもの
			ペットボトル	飲料用ペットボトル（フタをとる→燃えるごみへ）
	ひもで十字に束ねる	古紙類	ダンボール	ダンボール（汚れているものは燃えるごみへ）
			雑誌類	雑誌、本
			新聞紙	新聞紙、チラシ
			紙パック	飲料用パック（内側がアルミや、汚れているものは燃えるごみへ）
処理施設へ直接搬入	事業系ごみ	会社、工場、商店などから出る事業系一般廃棄物（排出量に関わらず）		
	一時多量ごみ	引っ越しや大掃除で一時的に多量に発生するごみ		
	粗大ごみ類	タンス、机、ベットなど一人で持ち上げることができないもの		
販売店指定引取場所へ	産業廃棄物	建築廃材		
	処理困難廃棄物	オートバイ、農業用機械、タイヤ、ドラム缶、ガスボンベ、農薬、廃油、バッテリー、消火器など		
	家電リサイクル法対象品	洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、エアコン、パソコンなど		
年4回・回収	農業用廃プラスチック			

## 『ごみ』を出さない意識から

**面倒くさい？**  
**いえ、簡単です**

ごみの減量化といっても具体的にどうしたらいいかわからない、面倒くさいなど感じるかも知れません。実は、そんなに難しいことではありません。ちょっとした意識の持ち方で、簡単に取組むことができます。ごみを出さない、ごみを減らす意識、取組みとして3つの取組み（3R）を紹介

① **減らす** (Reduce)

ごみになるものを減らす。本来に必要かどうかを考えて、使い捨てになるものはなるべく買わないようにする。

② **再利用** (Reuse)

物を大事に繰り返し使う。フリーマーケットやリサイクルショップを活用する。

③ **再資源化** (Recycle)

もう一度、資源として活用する。ごみと資源をきちんと分別する。地域の資源回収に参加する。まずは、身近なところでできることは何かを考え、少しずつ取組んでみませんか。一人一人が取組むことで、町全体ではごみの減量化が大きく進みます。地球環境のためにも、さあ始めよう。

ふろしきを見直そう!!

## エコでおしゃれな活用術

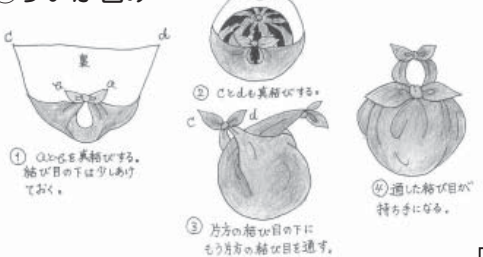
① 買い物包み



② 2本のびん包み



③ すいか包み



## 環境美化やエコ活動で先進的な取組み

～ いわて環境王国展 (11/13・14 アイーナ) ～

☆葛巻小学校  
Eco-1グランプリ  
(優秀賞)

「葛小省エネプラン」を提案し、長期休業には省エネカレンダーを作成するなどの取組を行っています。計画的に省エネに取り組み、活動が全校に広がっていることが評価されました。



前列左から4番目が葛巻小・佐々木副校長



発表する江刈小の4名の児童と片方教諭

☆江刈小学校  
環境連携事例発表  
(地球温暖化を防ごう発表)

総合的な学習の時間に地球温暖化の仕組みと生活の関わりについて学習したほか、学校林の間伐材を通じて森林の役割についても学んでいることが注目されました。

☆小田部落会  
岩手県環境保全活動表彰受賞  
(環境美化部門)

昭和47年から5月～10月の第2日曜日、道路沿い及び河川沿いの草刈りと清掃活動を実施するとともに、景観形成の「住民協定」を結ぶなど環境美化活動に取り組んでいることが評価されました。



前列右が小田部落会・門場会長

**資源回収に補助があります**

町内の子ども会などの団体では、積極的に資源回収を行っている、リサイクル業者に引き



空き缶を分別したあとと圧縮します

取ってもらい、換金したお金を活動資金として活用しています。今年度は、葛巻中学校がその資金で車いすを購入し、町へ寄付するなど活動が広がっています。

町は、資源回収を実施した団体などに、活動費として3000円（年一回）と売却代金の20%を補助しています。瓶やアルミ缶の回収した量などの申請が必要です。昨年度は39団体が申請、今年度も19団体が（11月末日現在）取組み、申請しています。地域がきれいになり、しかも活動資金が入る一石二鳥な取組みです。詳しくは、農林環境エネルギー課までお問い合わせください。